

事業概要	地域の再生可能エネルギーで給電される電気自動車を使用したカーシェアリング事業及び車両の充放電機能を活用したエネルギーマネジメントのシステム開発・提供	
部署	—	
所在地	〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町1-9-5 天翔御茶ノ水ビル507	
連絡先	(電話番号)03-3525-8008 (E-mail)info@rexev.co.jp	
環境省ローカルSDGsを通じて、実現したい社会像	<p>地方では人口減少と少子高齢化が進み、地方の社会インフラや社会サービスの維持などが課題です。そこで、弊社はeモビリティを管理する独自プラットフォームを展開することにより環境省ローカルSDGs(地域循環共生圏)を実現したいと考えております。</p> <p>具体的には、地域の再生可能エネルギーを活用した電気自動車のカーシェアリング事業、及び車両の充放電機能を活用したマイクログリッド事業に参画することで地域の資源を有効に活用し地域内での経済循環を創り出したいと考えています。そうすることにより、限界費用(燃料費や人件費など移動にかかる最低限のコスト)を低減化させていくことで、地域の課題を解決していけるものと確信しています。</p> <p>今後、EVの普及、eバスや物流などeモビリティの拡大が進むなかで、当社プラットフォームを普及させることを通じて、より効率的なeモビリティの導入を促進して参ります。</p>	
ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション	分野	観光ビジネス／脱炭素／交通／防災
	<p>当社は小田原市と地域電力である湘南電力と協力し、小田原市と箱根町に電気自動車(EV)の個人・法人向けカーシェアリング事業を展開しております。現在、EV31台を導入し、これらは当社にて開発したシェアリングとエネルギー管理を行うプラットフォームで制御されております。2020年6月1日のサービス開始以降、法人向けには営業の足として、個人向けには主に近郊への買い物・観光・レジャーの足としてご利用いただいております。</p> <p>また、公共サービスの面では車両の災害時の非常電源としての活用を通じた事業持続計画に貢献しています。</p>	
	URL	https://www.eemo-share.jp/
上記ソリューションを提供できる地域について	全国	

自者の特徴	⇒別紙参照
SDGs経営に向けた自者の課題や悩み	<p>SDGs経営をする上で、単発の実証実験で終わらせない、持続可能な事業化が重要と考えています。</p> <p>弊社のメインの顧客である、法人や自治体においてもSDGsは浸透しており取組みも積極的です。弊社の取組についても、高い関心を示されますが、やはり最終的に経済合理性のところでこの足を踏むケースが多いのも事実です。</p> <p>経済合理性を示すためには事業者の努力が必須ですが、弊社事業はEV車両の普及ということを前提としておりますので、EVの価格や車種など自動車メーカーに依存することが大きくなります。一方で、国内でのEVメーカーが出している車両は諸外国に比べてまだ、弊社のような事業者が十分活動できるだけの水準(価格、車種など)に達していない状況です。</p> <p>そのため、弊社の取組みが自走できるようになる間は、補助等の活用をして拡大していくことが重要ですので、現状の事業者の事業状況を鑑みて、制度設計を頂けますと幸いです。</p>

REXEVのご案内



設立日	2019年1月23日
会計年度	1月～12月期
会社名	株式会社REXEV（レクシヴ） (REXEV Inc.)
本店所在地	東京本社：東京都千代田区神田淡路町 小田原本社：神奈川県小田原市
事業概要	<ul style="list-style-type: none">電気自動車（EV）に特化したカーシェアリング事業EVシェアリング事業に必要なシステム等の開発および提供エネルギーマネジメントサービス（EMS）事業エネルギーリソースアグリゲーション事業主に地域新電力のコンサルティングや業務委託（常駐型含む）
資本金	3億9,750万円
創業メンバー	代表取締役社長 Co-founder 渡部 健 取締役 Co-founder 藤井 崇史 取締役 Co-founder 盛次 隆宏

エネルギーの専門集団だから創ることができる EVの未来

Renewable Energy

再生可能エネルギーの普及



限界費用ゼロのエネルギー



Electric Vehicle (EV)

EVの普及



自動運転



人件費が限界費用ゼロに

移動限界費用ゼロ社会

持続可能な地域社会

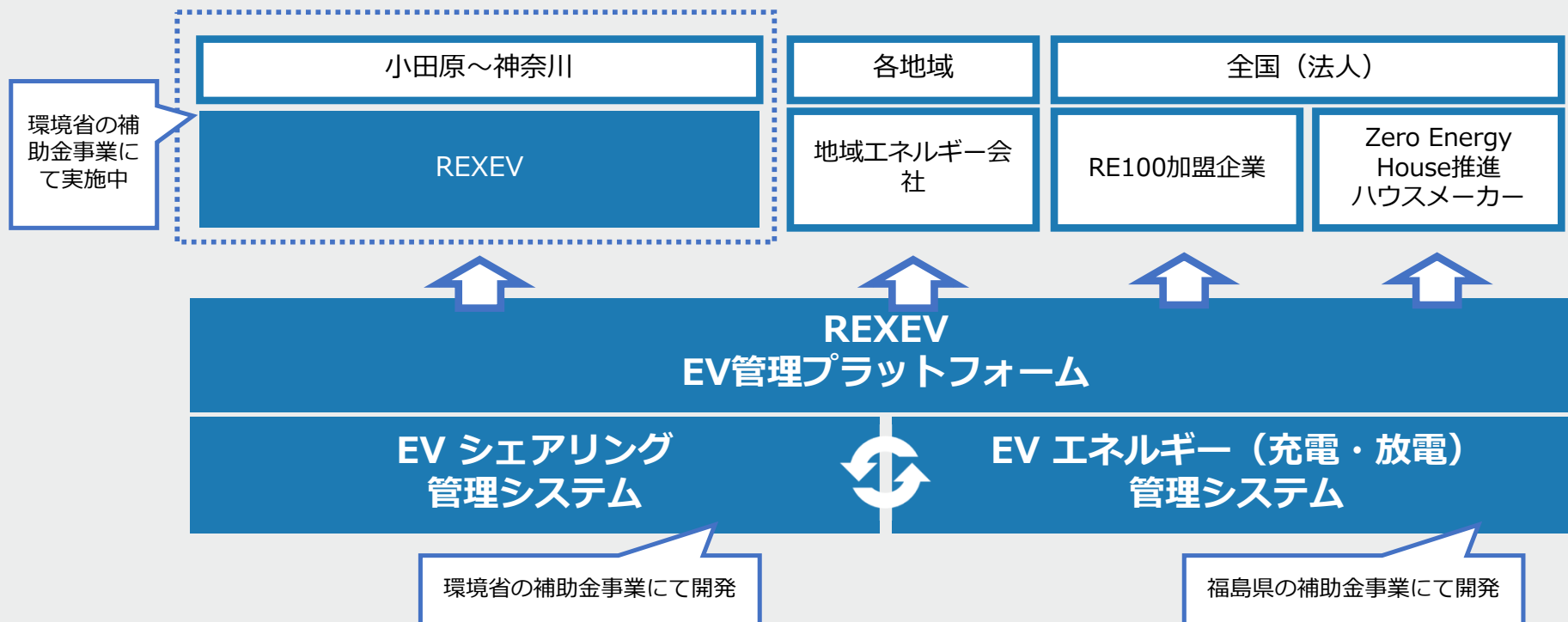
地域の課題

未来に続く豊かな地域社会を残す

事業を通じて課題を解決する

REXEVの事業

1. 小田原市をスタートポイントとした
eモビリティの①シェアリング事業 ②エネルギーマネジメント事業
2. 自治体や環境志向の高い法人向けに
③eモビリティのマネジメントプラットフォーム提供事業
3. (将来) EVx自動運転を利用した新たな地域サービス創出



小田原・箱根地域でのEVカーシェアリング事業

● 2020年6月からEVカーシェアリング「eemo」のサービス開始

eemoは小田原市、湘南電力株式会社と共同で環境省の「脱炭素イノベーションによる地域循環共生圏構築事業」の採択を受け、補助を受けて実施しています。



- 2020年11月時点で34台(20ステーション) 運営
- 2022年までに100台導入する予定。



● 防災活用

小田原市と非常時にEVを活用する防災に関する取決めを締結。



ホテル・旅館



駅周辺



集合住宅



法人施設



ステーション外観



小田原市役所ステーション



城山第一ステーション



芦子橋交差点ステーション



小田原百貨店 板橋ステーション

eemoアプリについて

- 車両の予約、鍵の解錠/施錠、利用料金の決済（クレジットカード）、会員情報の管理とカーシェアリングに必要な**一連の動作を全てスマートフォンアプリで完結**できます。
- **電気自動車に特化した機能として、充電残量の管理機能や再生可能エネルギー利用率の表示機能等**を備えています。



EVステーションで使用される発電所を紐付けしてイメージを表示させることが可能

- EVステーションの再生比率を数値で表示
- 将来的にはダイナミックプライシングにも活用



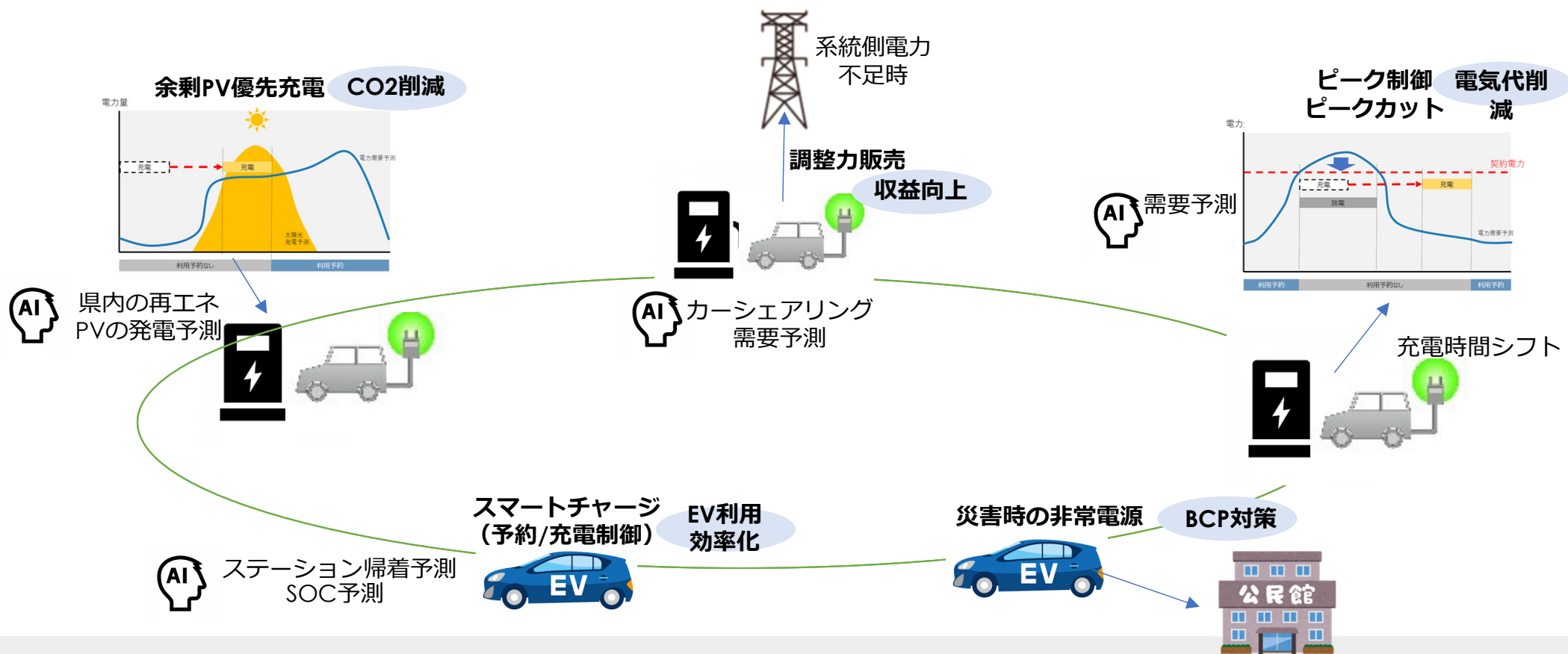
貸出時間における充電残量から走行可能距離を算定

予約時間やこれまでの利用履歴などから、予想走行距離を算定

予想走行距離と比較し、途中で充電が必要かそうでないかをユーザに事前に情報提供

カーシェアリング×エネルギーマネジメント

- 国内で初めてカーシェアリングとエネルギーマネジメントを両立して事業化
- SOC予測やカーシェア需要予測を行い、EVの電力を有効活用し、BCP、電気代削減、CO2削減など、移動手段以外の価値を提供します。



- ◆ 今後、EVだけでなく、eバスやスローモビリティなど様々なeモビリティへ適用や地域MaaSサービスとの連携し、eモビリティプラットフォームとして拡大
- ◆ 23年度までに2000台のEVを制御することを目標とする

Step2.

他地域、他事業者へのサービス展開 2020年～

- 小田原周辺地域でのサービス開始（2020年6月開始）
- 小田原以外の地区へのサービス提供開始
- 他事業者へのシステムプラットフォーム提供
- eバスやグリーンスローモビリティ実証
- VPP実証

Step4.

EV自動運転の実現 2022年～

- 自動運転×EVサービス
- 車両データから地域移動サービスの効率化

Step3.

eモビリティ全体のトータルマネジメン 2021年～

- MaaSサービスとの連携
- eバス、スローモビリティ、電動バイク等への展開
- 調整力市場での調整力取引

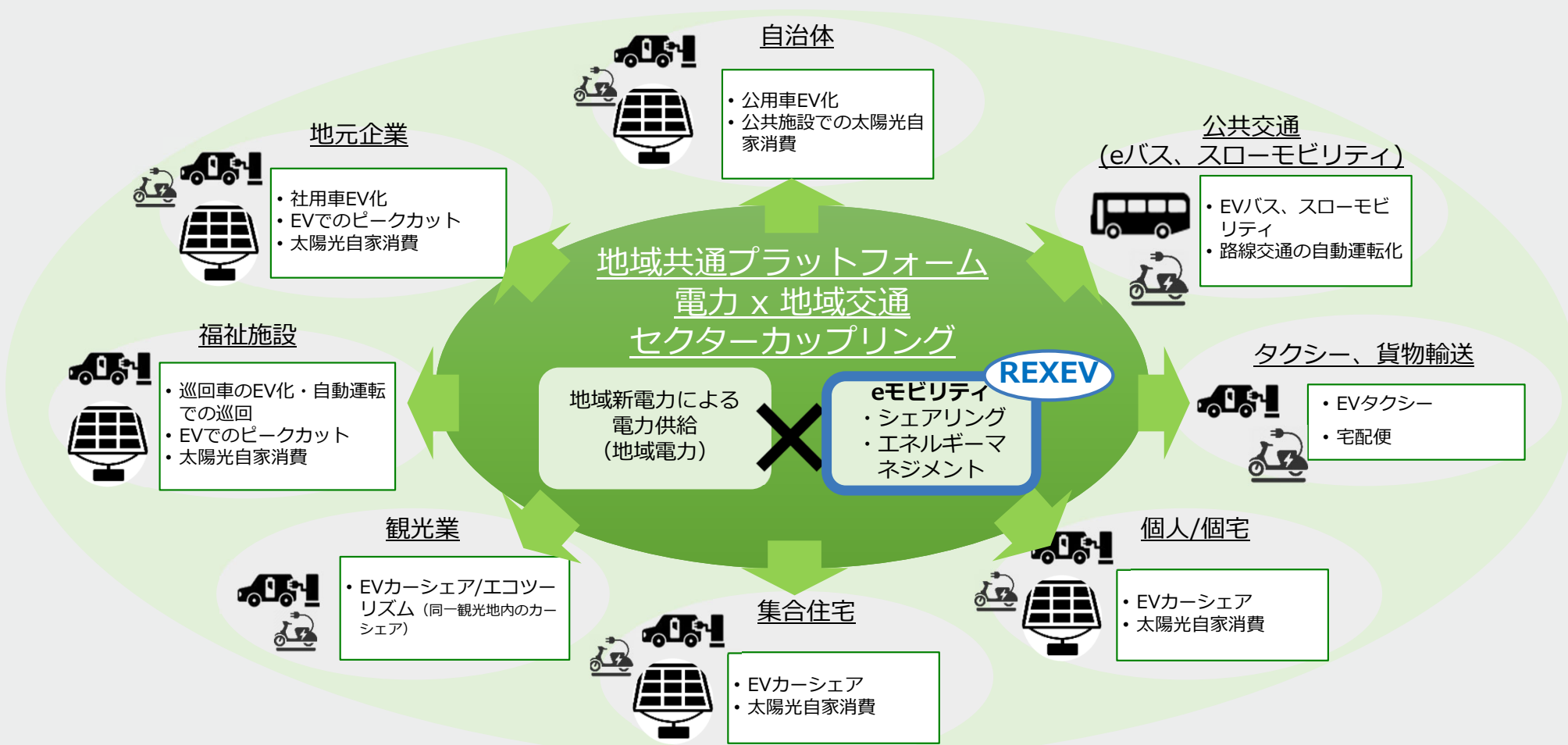
Step1.

EVシェアリングとEVエネマネプラットフォーム開
発 2019年～

- 小田原事業、福島での開発
- ① EVを用いたカーシェアリング事業@小田原
- ② EVを活用したエネマネシステムの開発@福島

将来の事業ビジョン 日本版ドイツシュタットベルケモデルを目指して

弊社ソリューションを通して、eモビリティの移動手段とエネルギーリソース（動く蓄電池）としての価値を最大化し、法人や自治体でのeモビリティ導入を促進していきます。





REXEV